

組合長あいさつ

丹波ひかみ農業協同組合
代表理事組合長

藤原 昌和



盛夏の候、組合員の皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、JA丹波ひかみの事業運営に格別のご指導・ご協力を賜っておりますこと、役職員一同厚くお礼申し上げます。

さて、わが国における農業を取り巻く環境は非常に不安定なものとなってきております。南海トラフ地震臨時情報の発表に端を発した令和5年産米の買い込み需要により、小売り現場でのコメ不足や流通価格の高騰が生じ、令和の米騒動とも呼ばれる事態が発生しました。現在も災害時の命綱ともいうべき備蓄米が放出される一方で小売価格の高騰が続くなど、流通へも大きな影響を及ぼしており、先の見えない状況により食料の安全保障が脅かされております。

また、気候変動による夏期の高温少雨により全国で農産物への影響が発生し、管内を代表する特産物である丹波大納言小豆が大きな被害をうけ、過去に類を見ないような凶作となりました。

このような状況の中、JA丹波ひかみでは様々な環境変化に迅速に対応した施策を打ち出していく必要があると考えます。

一方、国においては25年ぶりに「食料・農業・農村基本法」の改正法が第213回通常国会で成立し、①食料の安定供給の確保②農業の有する多面的機能の発揮③農業の持続的な発展④農村の振興、についての方向性が示され、農業・農村への注目が一層高まっています。

また、丹波市においては、農業者の減少・高齢化により耕作放棄地の増加が一層進んでおり、2020年農林業センサスのデータでは基幹的農業従事者の平均年齢が72歳を超える状況となっております。

こうした情勢を受けて、当組合は第12次営農振興3ヵ年計画を策定し「農業所得の向上」、「農業生産の拡大」、「持続可能な農業実現」をめざし、役職員一同、皆さまとともに協同組合運動に全力を傾注してまいりますので、なお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。